

サーチライト With Pastor Jon 創世記9章 パート2

このメッセージはアップルゲート クリスマン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスマン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスマン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

聖書の中での契約とは、“神の口によってはっきりと宣言されるもの”であることと、神は契約によって、人と家族と国家に全責任を負うということを理解しておいて下さい。

宣言とは「これから、わたしはこれを行う」という事で、全部ではありませんが、多くの場合は無条件です。

つまり、人、家族、国家に対する神の宣言は、「わたしはこのことを行う。以上！」

中には「あなたがこれを行えば、わたしはこうしよう」という条件付きのこともあります。

条件付きの契約、または条件付き条項、条件付き約束。

それらは、契約を交わした双方に責任が生じますが、神の契約の殆どは無条件契約で、その場合、神は「あなたの行動がどうであれ、わたしは行く。」と言っています。

これがノアとの契約に該当することで、神は一方向的に宣言しました。

さて、聖書を学ぶ人にとって契約を理解することは、“贖い”の意味を解いていくカギとなります。

聖書の流れをつかみたいなら、それぞれの契約を理解しなければなりません。

その契約がどのように与えられたのか、人類救済計画がどのように明かされたのか。

それは聖書に書かれている歴史と、また、将来のことや終末論に大きく密接に関係します。

具体的には8つの契約が与えられています。

第1の契約は『エデン契約』

これは、神がエデンの園で、主権者としてアダムとエバに出した声明、宣言。

「あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは食べてはならない。」

その木から食べる時、あなたは必ず死ぬ。」(創世記 2:16-17)

「目に入る物を全て満喫しなさい。ただし、1本の木、善悪の知識の木だけはダメだ。
もし、あなたがわたしに背を向け反逆して、自らその木の実を取って食べるなら、自らわたしと決別するなら、結果、死ぬ。」
最初の契約『エデン契約』は、「楽しむために、全てをあなたに与えよう。ただし、自らあの木の実を食べるなら、その結果は…」

第2の契約は『アダム契約』

これはアダムが罪に陥ってから与えられた契約で、神がアダムに宣言した、今後、人が果たすべき責任や義務。

あなたは、顔に汗を流して糧を得、(創世記 3:19)

あなたは苦しんで子を産む。またあなたは夫を恋い慕うが、彼はあなたを支配する。(創世記 3:16)

更に、神はもう一つのことを宣言しました。

「彼は(女の子孫、種)はおまえ(蛇)の頭を打ち」(創世記 3:15)

「これがこの先起こることで、それは大きな希望となる。」
当然、女の子孫(種)が指しているのは、後に来て敵の頭を踏み砕くイエス・キリスト。
救い主が来る！ここに希望があります。
これがアダム契約の一部です。

第3は『ノア契約』

これは創世記9章です。

第4は『アブラハム契約』

もう少し先で学びますが、「地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」(創世記 12:3)
神はアブラハムにはっきり宣言しました。
「あなたの中に特別なことが起こり、あなたを通して大きな祝福が与えられる。」

第5は『モーセ契約』

申命記30章。別の呼び名は『律法』、これは条件付き契約。
神は繰り返し言っています。

「あなたがこれをすれば祝福され、しないなら呪われる。」
「あなたがこれを行うなら、わたしはこうしよう。」
「あなたがそうしないなら、わたしはこれを行わない。」

第6は『パレスチナ契約』(現在は『土地の契約』)

これはアラファト議長とは何の関係もなく、イスラエルの土地に関する神の宣言。
申命記30章。

「イスラエルの民はその土地から追われるが、わたしは彼らを再び集め、ユダヤ人、イスラエルの民が永遠

にその土地を所有する。」

第7は『ダビデ契約』

永遠に支配する統治者がダビデから生まれる。勿論、これはダビデの子、イエス・キリストのこと。

第8は『新しい契約』

エレミヤ 31 章。光り輝く契約。

「わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。」(エレミヤ 31:33)

「もはや、律法を石の板に書くことはしない。もう、外側からの掟や定めで縛ることはない。」

だから、イエスは死の直前にパンを裂き、弟子たちに言ったのです。

「これは、わたしの(新しい)契約の血です。」(マタイ 26:28)

This is My blood of the new covenant (NKJV)

新しいことが始まる。

あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望み(コロサイ 1:27)

「これからは外側ではなく、あなたの中に私の霊が住み、方向を示し、わたしが求める人間になれるように力を与える。これは宗教ではなく、新しい契約の関係。わたしがあなたの中にいる。」

以上が基本となる 8 つの契約です。

エデン契約とモーセ契約が条件付きで、他は無条件契約。

それぞれの詳細については、今後学びの中で触れていきますが、これらの契約、宣言がどんな状況の中でなされたのかを知ることは、聖書の歴史を通して働かれた主について学ぶ重要なカギとなります。

今夜は『ノア契約』を見ますが、少なくとも私には驚きと衝撃でした。

「わたしはあなたと新しい契約を交わそう。それは、あなただけでなく、全人類に関わる内容だ。」

神とノアのこの契約は完全に無条件で、その内容は 3 つ。

(1) 食物 (2) 規律 (3) 宣言 これがノア契約の 3 本柱。

(1) 食物

最も興味深いのが食物に関する事で、神はこう宣言しました。

「生きて動いているものはみな、あなたがたの食物となる。」(創世記 9:3)

これで、人の食事に変化が起こり、それまでのようなベジタリアンではなくなりました。

この時まで、人は食肉を食べていなかったのです。

新しい契約により、神はこの日を以って「人は肉を食べる」と宣言しました。

良かった！ハンバーガー好きには記念すべき、バーベキュー好きには感謝の日。

「人は肉を食べる」これはノア契約で始まり、以降も続きます。

でも、どうして？

面白いことに、たくさんの興味深い研究結果が出ていて、今夜は詳しく話しませんが、自分で調べてみたいなら G H Plemmer 氏 (1837-1910 イギリス) の本「Earth's Earliest Ages And Modern Spiritualism」がお薦

めです。

面白いタイトルですね。彼は神学者で、面白い思考の持ち主です。

手短かに言えば、Plemmer たちは、「神がここで人の肉食を宣言したのには、大変重要な理由がある」と考えました。

神は「彼らは長い間ベジタリアンだったし、そろそろかなー」というような事で、肉食宣言をしたのではないのです。

3-4年前（1997年）、ベジタリアン・タイムズ誌の創刊者で、ベジタリアンの世界をリードしてきた人物が、創刊20周年記念の日にステーキハウスに行って、20オンス（約570グラム）のニューヨークステーキを注文しました。

そこでレポーターが、「ベジタリアン・タイムズ誌のお祝いにステーキハウス？」

すると「はい！大きなニューヨークステーキをいただきました。」

「どうして？あなたはこの雑誌の創刊者で、大ブームを起こした張本人なのに。」

彼曰く、「豆腐を食べるのは、どんな人でも20年で十分。」

というわけで、ベジタリアン卒業！今では、私たちのほとんどと同じで肉食です。

ポイントは、Plemmer たちが言っている、「歴史上も聖書に於いても、神が人間の食事には肉が必要だとした」ということ。

それは、単に味覚的な問題ではありません。

洪水の前に起こっていたこと、それは、悪霊たちが人間の女性と性的関係を持ち、その結果、巨人が生まれましたね。

以前のメッセージを聞いていない人は、創世記6章を聞いて下さい。

Plemmer たちは、「悪魔的存在、悪霊は食肉によって撃退できる。だから、神は肉を食べるようにと言い、食肉が人間の身体を造る要素となって、悪霊が再び人間の中に入り込み始めるのを防いだのだ」と信じていました。

悪霊について、そのような考えが本当かどうかは調べることができます。

世界を巡って異文化を調査すると、悪魔的な宗教が深く入り込んでいるのをたくさん見るでしょう。

例えばインドのヒンズー教は、多くの場合肉食主義で、そうであることを重要視します。

と言っても、ベジタリアンが皆、悪霊に侵されていると言っているわけではありませんよ。

私が言いたいのは、ある人々は「食肉は悪霊の力を撃退する」と固く信じているということです。

だから創世記6章の後、神は「さあ、新しい時代だ！地に満ちるために肉を食べなさい！」と。

興味深いことに、**後の時代になると（in the last days）、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。（Iテモテ 4:1）**

“惑わす霊”と“惑わす悪霊”、同じフレーズ。

それらは何をしますか？

肉を食べることを禁じる。

なぜ、惑わす霊・悪霊が肉を食べることを禁じるのか、ヒンズー教やニューエイジなどの“肉を食べないことで靈的に高くなれる”という考えがどういうことなのか、それがどう関係するのか、を知る手がかりはたくさんあります。

健康上の理由でベジタリアンなのは、何の問題もありません。

ただ知ってほしいのは、聖書の中には、“菜食主義が肉食に勝る”とは一切書かれてないこと。

だから、菜食主義の方が靈的に勝るとか、靈的に高いとか深いという考えは、全く入る余地がない。

神が人に「肉を食べるように」と言ったのだから。

事実、イエスでさえ、十字架の死の後よみがえり、新しい体で弟子たちに現れて言ったのです。

「ここに何か食べ物 (Meat) がありますか。」 (ルカ 24:41)

he said unto them, Have ye here any meat? (KJV) Meat !

イエスは「野菜はありますか?」とは言わなかった。「肉はありますか?」

それで弟子たちが渡したのが、焼いた魚と蜂蜜。

イエスはみんなの前でそれを食べましたね。

ここから言えることは、“ベジタリアンになったら本当に靈的な人になる”という考えに惑わされてはいけないということ。

そんなみことばは、聖書の中に一言もないのだから。

何度も言いますが、健康上の理由でベジタリアンであり、それで調子が良いのなら、何も問題ありませんよ。

ノア契約で神が言ったのは「肉を食べなさい。」

それは食物に対する新しい考え方で、まさに聖書にある通り、皆さんも調べれば分かります。

実のところ、終末時代には肉食を禁じる人々が来て、「肉を食べてはならない」と言い始めます。

使徒パウロは、「そういう人たちに気をつけなさい。」と言いました。

これは惑わしの霊の一つで、神のみこころでないのは明らかです。

食習慣の変化。菜食から肉食へ。

まだ始まったばかり。しっかりついて来て下さいよ。

(2) 規律

規律についても神はノア契約で宣言し、初めて、人間による管理が始まりました。

人の血を流す者は、人によって血を流される。神は人を神のかたちとして造ったからである。

(創世記 9:6)

「あなたが人を殺したら、故意に血を流し、殺人を犯したら、わたしがあなたに、人間として非常に厳しい方法で責任を負わせる。」

「人はわたしのかたちに造られたのだから、殺人は神であるわたしに敵対することである。

ゆえに、ノア契約によって、わたしはあなた方人間に、自らを管理する義務と責任を与える。

しかし最高権威は、神であるわたしにあることを承知していなさい。」

「人が人を殺すことはわたしへの敵対であるから、その者の血が流されなければならない。」

これが人間による統治の始まりです。

神が設立した制度は基本的に3つある、と聖書に書かれています。

- ① 家族；以前、創世記で学びましたね。家族制度。
 - ② 政治；たった今、ここで設立されました。
 - ③ 教会；旧約聖書に於けるユダヤ人、新約聖書で言うキリストの体・王国。両方に関係します。
- 家族、政治、そして霊的王国。
この3つの制度が与えられています。

神はここで政治に関連して、「これが、人間による統治の土台、その基本的な根拠だ。」と言いました。
信じ難いかもしれませんが、それが死刑制度の基となっているのです。

つづく

しかし、御民の中には偽預言も出ました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れます。
彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。
自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

(Ⅱペテロ 2:1)